

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																																
実践看護学特論Ⅲ(小児看護)	1	前期	2	講義 30時間																																
担当教員	大野知代																																			
授業概要	乳幼児期から思春期までの子どもと家族を理解するための理論をもとに、包括的なヘルスアセスメントと看護実践に求められる知識と研究について探求する。																																			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもへの看護に求められる諸理論を理解し説明できる。 2. 子どもと家族を包括的に捉えるヘルスアセスメントのための方法と理論を修得できる。 3. 保健・医療・福祉・教育の側面での小児看護のあり方を関連する研究を用いて討議できる。 																																			
履修条件	特になし																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>小児をとりまく社会状況と健康課題に関する研究の動向</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発達理論における基本的概念と方法 ①フロイトによる自我発達論 ②エリクソンによる漸成的発達理論 ③ピアジェによる思考発達理論</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>発達理論における基本的概念と方法 ①フロイトによる自我発達論 ②エリクソンによる漸成的発達理論 ③ピアジェによる思考発達理論</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>家族に関する諸理論と方法</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>乳幼児期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>学童期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>思春期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>急性的健康問題をもつ子どもと家族への看護と研究</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>慢性的健康問題をもつ子どもと家族への看護と研究</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>子どもの喪失と家族の悲嘆に関する研究</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>子どもの虐待(発達障害含む)および家族に関する研究</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>終末期にある子どもと家族への看護と関連する研究</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>地域社会における子どもの実態と地域包括支援のあり方</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>小児看護学の実践に伴う教育と指導に関する研究</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>討議：これからの小児看護と研究の方向性</td> </tr> </tbody> </table>				回	内容	1	小児をとりまく社会状況と健康課題に関する研究の動向	2	発達理論における基本的概念と方法 ①フロイトによる自我発達論 ②エリクソンによる漸成的発達理論 ③ピアジェによる思考発達理論	3	発達理論における基本的概念と方法 ①フロイトによる自我発達論 ②エリクソンによる漸成的発達理論 ③ピアジェによる思考発達理論	4	家族に関する諸理論と方法	5	乳幼児期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法	6	学童期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法	7	思春期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法	8	急性的健康問題をもつ子どもと家族への看護と研究	9	慢性的健康問題をもつ子どもと家族への看護と研究	10	子どもの喪失と家族の悲嘆に関する研究	11	子どもの虐待(発達障害含む)および家族に関する研究	12	終末期にある子どもと家族への看護と関連する研究	13	地域社会における子どもの実態と地域包括支援のあり方	14	小児看護学の実践に伴う教育と指導に関する研究	15	討議：これからの小児看護と研究の方向性
回	内容																																			
1	小児をとりまく社会状況と健康課題に関する研究の動向																																			
2	発達理論における基本的概念と方法 ①フロイトによる自我発達論 ②エリクソンによる漸成的発達理論 ③ピアジェによる思考発達理論																																			
3	発達理論における基本的概念と方法 ①フロイトによる自我発達論 ②エリクソンによる漸成的発達理論 ③ピアジェによる思考発達理論																																			
4	家族に関する諸理論と方法																																			
5	乳幼児期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法																																			
6	学童期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法																																			
7	思春期の発達とヘルスアセスメントの理論と方法																																			
8	急性的健康問題をもつ子どもと家族への看護と研究																																			
9	慢性的健康問題をもつ子どもと家族への看護と研究																																			
10	子どもの喪失と家族の悲嘆に関する研究																																			
11	子どもの虐待(発達障害含む)および家族に関する研究																																			
12	終末期にある子どもと家族への看護と関連する研究																																			
13	地域社会における子どもの実態と地域包括支援のあり方																																			
14	小児看護学の実践に伴う教育と指導に関する研究																																			
15	討議：これからの小児看護と研究の方向性																																			
教科書	特になし																																			
参考書	授業内容に応じて、資料の配布および文献の紹介を行う。																																			
評価方法・基準	課題レポート(50%)、討議の参加状況(30%)、口頭発表(20%)について評価する。																																			
事前・事後学習	事前に提示する課題および資料・文献を予習して授業に臨む。さらに、提示された課題については準備をして発表すること。事後学習では、学習内容を次の授業および課題レポートにつながるよう自己学習を深める。																																			
備考	特になし																																			